

平成 27-29 年度厚生労働省科学研究費補助金

(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

「妊婦健康診査および妊娠届を活用したハイリスク妊産婦の把握と効果的な
保健指導のあり方に関する研究 (H27-健やか-一般-001)」

分担研究報告書

研究代表者：

地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪府立母子保健総合医療センター

産科 主任部長 光田信明

「メンタルヘルスに問題のある妊産婦への保健指導の開発及び全国展開」

分担研究者 木下勝之 日本産婦人科医会 会長

研究協力者 中井章人 日本医科大学産婦人科 教授

研究要旨

- 平成 27 年度の調査において、メンタルヘルスに問題があり介入が必要な妊産婦の頻度は 4%で、全国で年間約 4 万人と推計され、未婚者が 18%で、貧困など生活面の問題を 15%程度が抱えていることが明らかになった。
- 自治体ごとのメンタルヘルス介入が必要と考えられた妊産婦の割合は、0.6%から 8.6%に分布し、地域ごとでは、関東、九州、北海道・東北で他の地域より増加する傾向であった。
- 要介入と判断された妊産婦の割合は、診療所 (2.4%) に比較し、病院 ((5.4%) では 2 倍以上で、特に大学病院 (10.2%) と国立系病院 (7.6%) に集中していた。
- 要介入と判断された妊産婦への対応は、大部分の施設で助産師 (87.4%) や産婦人科医師 (53.0%) が行い、臨床心理士 (14.3%) が行っていたのはわずかで、精神科医師への紹介も 22.4%に止まっていた。
- 以上より、育児支援ネットワークをはじめ地域の連携システムのより機能的な運用と妊産婦のメンタルヘルスケアを専門とする精神科医師や心理職等の早急な確保が望まれた。
- メンタルヘルスに問題のある妊産婦への保健指導の開発及び全国展開を検討した結果、スクリーニング検査 (NICE の質問票、EPDS) を、全ての妊産婦を対象に、妊娠初診時、妊娠中から産褥期に行うことが望まれた。
- これらを円滑に運用するため、子育て世代包括支援センターでは、ワンストップ機能を拡充し、臨床心理技術者を配備するか、相談者へのスクリーニング検査を導入し、精神科へ直接紹介するなど連携を強化することが望まれた。

A. 研究目的

社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会は、「心中以外の子どもの虐待死」について、生後1ヶ月未満（0ヶ月）の死亡事例が、全体の46.3%を占め、そのうち生後0日の死亡事例が80%以上を占めると報告している¹⁾。また、大部分の加害者は実母（91%）で、その多くがいわゆる「望まない妊娠」であったことを指摘している。

望まない妊娠の背景は、社会的要因と精神的要因に集約される。社会的要因には、本人とそのパートナーや家族の関係や健康状態、年齢、経済状態、婚姻状態はじめ、子育てを取巻く社会的環境などがあげられる。同様に、母体の精神的要因も多様で、軽度の抑うつ状態から高度な精神疾患までが含まれるが、望まない妊娠そのものが精神障害のリスク因子になるとの指摘もある²⁾。

妊娠、出産は母体の身体に大きな変化をもたらすと同時に、精神面にも影響を与える。特に産後数週間から数ヶ月は女性のライフサイクルの中で、最も精神障害の発生率が高い時期にあたる。こうした精神的問題は、育児に障害をきたすことがあり、子ども虐待に繋がるリスクが指摘されている³⁾。

これまでにいくつかの研究が、妊娠中の母体の精神的問題と育児との関係や、その後の発達に及ぼす影響を報告している。その結果、ネグレクトを含めた児童虐待のみならず、育児不安

の多くは、妊娠中からの愛着形成の欠如が原因となることが明らかになっている⁴⁻⁷⁾。また、乳幼児期の体験は、児の脳の構造上の変調をきたすことが報告され、妊娠中のメンタルヘルスケアの重要性が指摘されている⁸⁾。

これらのエビデンスがあるにもかかわらず、本邦では妊娠中や産後のメンタルヘルスに関するスクリーニングや具体的な介入方法が確立していない。また、実際に支援を必要とする妊産婦の割合も明らかではない。

そこで、本研究では日本産婦人科医学会の会員施設を対象に、前方視的アンケート調査を行いメンタルヘルス介入が必要な妊産婦の割合を明らかにし、効果的な保健指導のあり方を検討した。

B. 研究方法

日本産婦人科医学会の施設情報調査2015（2015年1月現在の施設情報）をもとに全国分娩取扱い施設に、前向きアンケート調査を実施した。本調査に個人情報に含まれず、個人を特定することはできない疫学調査で、日本産婦人科医学会倫理委員会の審査、承認を得て行った。

産婦人科医学会の施設情報調査2015で集計された全国の分娩取扱施設2453施設（病院1044施設、診療所1409施設）を対象に、平成27年11月1日から11月30日までの1ヶ月間に分娩管理した妊婦について、アンケート調査を実施した。

調査項目は分娩数、メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊婦の数、年齢、理由、背景などが含まれる(表1)。

保健指導法に関しては、これまで報告されているスクリーニング検査と産婦人科診療ガイドライン産科編⁹⁾、日本産婦人科医会が作成する「妊産婦メンタルヘルスケアマニュアルー産後ケアへの切れ目ない支援に向けてー」¹⁰⁾などをもとに、検査の時期、方法などを検討した。

C. 研究結果

1. アンケート回収率

2453 施設中 1073 施設 (44.0%) より有効回答を得た。

2. メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊婦

各施設から集計された分娩数は 38,895 件で、メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊婦は 1551 名 (4.0%) であった。これらの対象妊婦は有効回答があった 1073 施設のうち、474 施設 (44.2%) より報告された。

3. メンタルヘルス介入が必要と考えられた理由

介入が必要と考えられた理由を表 1 に示す。実際に精神疾患の診断を受けていた妊婦は 459 名で、介入が必要と考えられた妊婦の 29.6% をしめて

いた。精神疾患のうち 60.1% にあたる 276 名は薬物投与を受けていた。また、394 名 (25.4%) で精神疾患の既往があった (表 1)。

一方、産婦人科医師が抑うつ状態や精神的不安があると判断したものは 595 名 (38.4%) で、他の身体問題による精神不安と判断したものは 251 名 (16.2%) であった。

4. 患者背景

社会的な背景で最も多かったものは未婚者で、280 名 18.1% を占めていた (表 2)。また、「貧困等生活面の問題がある」妊婦が 232 名 15.0% で、「両親が離別している」、「実母と折り合いが悪い」、「夫との葛藤がある」など、家族関係に関する問題を有するものが、それぞれ 181 名 (11.7%)、176 名 (11.3%)、168 名 (10.8%) と上位を占めていた。

精神疾患とその既往がなかった 381 例では、「実母と折り合いが悪い」と「近所との付き合いがない」の項目の頻度が、それ以外の対象者 (119 例 10.2%、95 例 8.1% : データ非表示) に比較し有意に増加していた (表 2)。

5. 自治体ごとの検討

自治体ごとに、メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊産婦の分布を表 3 に示す。要介入の割合は、全国平均の 4.0% に比較し、0.6% から 8.6% に分布している。地域ごとでは、関東、

九州、北海道・東北で他の地域より増加する傾向であった（表4）。

5. 介入が必要な妊婦へ対応した職種と頻度（図5）

表5（1）（2）に、自治体ごとにメンタルヘルス介入が必要と考えられた妊産婦へ対応した職種を示す。介入が必要と考えられた妊婦が報告された施設は1073施設中477施設（44.5%）で、実際に対応した職種は助産師417施設（87.4%）、産婦人科医師253施設（53.0%）、看護師218施設（45.7%）臨床心理士68施設（14.3%）、その他が132施設（27.7%）となっていた（表5（2））。

いずれの自治体でも、助産師が対応していた施設が多く、その傾向に大きな差はなかった。一方、メンタルヘルスケアの専門職である臨床心理士が対応した施設の割合は、自治体間で大きく異なっていた。18自治体では、臨床心理士が対応した施設がないと回答されていた（表5（1）（2））。

また、産後精神科医師に紹介したとする施設は106施設で、対象者の報告があった477施設中、22.2%に止まっていた（表6）。紹介した施設数が少なく、自治体ごとの頻度にも大きな乖離があった。

6. 施設ごとの検討

病院、診療所に分類し、メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊産婦

の割合を検討すると、病院（5.4%）では、診療所（2.4%）の2倍以上にのぼっていた（表7）。

病院を運営母体で分類すると、大学病院や国立系の病院で高率であった（表8）。また、周産期機能で分類すると、一般病院に比較し、周産期母子医療センターの指定を受けている病院で高率となっていた。

介入が必要な妊婦へ対応した職種と割合を、表9にその内訳を示す。病院、診療所ともに助産師が最も多く対応しており、その傾向に大きな差はなかった。診療所に比較し病院では、臨床心理士が対応する施設が多く、運営母体ごとの集計では都道府県立病院（57%）、機能的な分類では総合周産期母子医療センター（42%）で高率であった。

産後精神科医師への紹介率は施設機能により異なり、総合周産期母子医療センターで19施設（57.6%）、地域周産期母子医療センターで24施設（38.1%）、一般病院で21施設（22.8%）、診療所で42施設（14.5%）になっていた。

7. 推奨される管理の実際

1) スクリーニングの対象者と検査時期、方法

スクリーニング検査の対象は全ての妊産婦になる。

スクリーニング検査は、妊娠初診時、妊娠中期、出産時、産後2週、産後1

ヶ月に行うことが推奨され、妊娠初診時は、スクリーニング検査に加え、精神疾患既往の有無を確認することが勧められている^{9,10)}。

スクリーニング検査は、精神疾患のみを抽出するものと社会的背景を踏まえ抽出するものに大別される。精神疾患に関するものでは、うつ病、不安障害のスクリーニング検査には英国国立医療技術評価機構（NICE; National Institute of Health and Clinical Excellence）の簡便な包括的2項目質問法が勧められている（図1、2）⁹⁾。また、エジンバラ産後うつ病質問票（EPDS）（図3）も、多くの国で妊娠中から用いられている¹⁰⁾。

一方、社会的背景（望まない妊娠、経済的要因、家庭環境など）を踏まえたものに関しては、初診時間診票モデル案（図4）や大阪府で実際用いられているアセスメントシート（図5）、あるいは育児支援チェックリスト（図6）が妊娠中の検査として推奨され、出産後には赤ちゃんへの気持ち質問票（図7）が勧められている¹⁰⁾。

2) スクリーニングの判定と陽性者への対応

NICEの質問票で、1つでも「はい」があるか、うつ病や不安障害を疑わせるような懸念がある場合、精神科医への受診が勧められている。また、EPDSは9点以上で、「うつ病の可能性が高い」とするが、点数とうつ病の重症度に関連はなく、8点以下で必ずしもう

つ病を否定できない。また、不安障害や精神遅滞など他の精神疾患でも高値となることがある。いずれにしろ、これらの判定には精神科への受診が必要になる。

初診時間診票や育児支援チェックリストは患者の背景因子を評価するもので、メンタルヘルスへの介入の必要性を検討するためには、前述のNICEの質問やEPDSと合わせて総合的に評価する必要がある。初診時間診票や育児支援チェックリストで要支援妊婦と判定される場合、施設内で生活状況、心理状態の把握に努め、傾聴を主体とした支援の継続が求められる。また、生活機能障害が著しい場合は、母子保健支援連絡票（妊婦・産婦・新生児）やアセスメントシート（支援を要する妊婦のスクリーニング；厚生労働省）などを用い子育て世代包括支援センターに情報提供し、保健師の訪問支援などを依頼する。

8. 精神疾患と生活機能障害（要支援妊婦）の関連とその対応

メンタルヘルスに問題のある妊産婦と生活機能障害による要支援妊婦の抽出ツールが異なり、かつ、対応が異なるためそのスクリーニングとその後の流れは複雑になる。5回のスクリーニング時期に少なくとも2種類の検査が行われ、陽性者への対応は3通りになる。精神科医に協力を依頼するもの、子育て世代包括支援センターに連絡するもの、そしてその両方にコ

ンタクトを要するものである。

これらに基づく管理の実際についてフローチャートを示す（図8）。メンタルヘルスに問題のある妊産婦と生活機能障害による要支援妊婦は重複する部分が多く、明確に分離し対応することができない。また、行政、精神科への窓口が概ね産科医療機関になっていることも、フローチャートを煩雑にし、産科医療機関の負担を増している。

これら煩雑なフローチャートと産科医療機関の負担を軽減するには、子育て世代包括支援センターの役割が重要になる。要支援妊婦の窓口として、子育て世代包括支援センターが十分に機能し、ワンストップとなればこの煩雑なフローチャートの一部は改善する（図9）。子育て世代包括支援センターには保健師等専門職が配置されるが、現状、多くの市町村では保健センターの保健師が兼務し、要支援妊婦への対応を行っている。機能の充実には、システム再構築に加え、これら人的配備の再検討も必要になると推察された。

また、全ての産科医療機関で、妊娠初期に要支援妊婦を抽出する初診時間診票（図4、5）や育児支援チェックリスト（図6）が導入されれば、子育て世代包括支援センターへのアクセスが初診時に集約できる可能性がある。妊娠期から産褥期まで、5回のスクリーニングが提唱されているが、この回数も状況に応じ減少させることができる（図9）。

妊娠初期に要支援妊婦をより効率的に抽出するもうひとつの方法として、母子手帳の交付時に初診時間診票（図4、5）などを用いる方法もある。問診票の結果に応じ、行政間で子育て世代包括支援センターへの連絡がなされることで、より効率的な対応が可能になる。

さらに、子育て世代包括支援センターの業務には医療機関等との連携も示されているが、産科、小児科が主たる診療科で、精神科との連携は明記されていない¹¹⁾。子育て世代包括支援センターが、相談者にNICEの質問票やEPDSを用いたスクリーニングを導入し、精神科へ直接紹介するなどの連携を強化していけば、フローチャートはより機能的になる（図9）。

産科医療機関が中心になっていた従来型の管理から、子育て世代包括支援センターが中心となる管理体制を確立することは、要支援妊婦への対応（サービス）向上に加え、産科医療機関の負担軽減に寄与するものと推察された。

D. 考察

本調査では、産科医療機関に従事する産婦人科医師が、メンタルヘルスに問題があり介入が必要と医学的に判断される妊婦の頻度を前方視的に調査し、その社会的背景を明らかにした。その結果、平成27年11月1日より11月30日の1ヶ月間に全国で分娩した妊婦のうち、4.0%に介入が必要と

判断された。また、社会的背景としては約 20%が未婚者で、貧困や家族との葛藤など家庭環境に問題を抱えていることが明らかになった。

介入が必要と医学的に判断される妊婦の半数は精神疾患とその既往があり、精神科医師などとの接点があるが、他の半数は専門医のアドバイスを受けることなく、経過していた可能性がある。これらの精神疾患とその既往がなかった妊産婦は、比較的低年齢で、周囲から孤立する傾向が強く、育児障害や子ども虐待に関し、よりハイリスクと推察されている⁶⁾。

メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊産婦の割合を、自治体ごとに比較すると、0.6%から 8.6%と 10 倍以上の差があった。地域ごとでは、北海道・東北、関東、九州で比較的高率で、東海北陸、近畿で低い傾向にあった。これらの地域差の原因を検討するため、社会的背景として指摘されている経済状況や婚姻状況と比較したが、自治体ごとの平均的指標と対象妊産婦の割合には有意な関連は認めなかった(県民一人当たりの所得： $r = 0.126$ 、女性の生涯未婚率： $r = 0.181$ 、合計特殊出生率： $r = 0.193$)。

施設の種類により、メンタルヘルス介入が必要と考えられた妊産婦の分布は異なる。介入が必要と考えられた妊産婦の割合は、診療所の 2.4%に比較し、病院で 5.4%と 2 倍以上におよんでいた。通常、産科診療所には精神科診療機能はなく、対象者がいる程度高次施設へトリアージされていた結

果と推察される。病院の運営母体では、大学病院(10.2%)と国立系病院(7.6%)でメンタルヘルス介入が必要な妊産婦の頻度が高く、機能的な分類では周産期母子医療センターの指定を受けている施設(総合 6.5%、地域 6.6%)で高率であった。また、精神科受診歴のない妊産婦の割合と施設種類に大きな相違はなく、産婦人科医師の意識やスクリーニング方法に大きな施設間格差はないものと推察された。

メンタルヘルスに問題を抱える妊産婦への対応には、専門的な知識と技術が必要になる。しかし、実際には助産師(87%)や産婦人科医師(53%)が対応することが多く、メンタルヘルスケアの専門職である臨床心理士が対応していた施設(14%)はわずかであった。実際、18自治体では、臨床心理士が対応したとする施設からの報告はなく、その配置や対応システムを検討する必要があると推察された。また、臨床心理士が対応した施設の割合は、運営母体ごとの集計では都道府県立病院(57%)、機能的な分類では総合周産期母子医療センター(42%)で比較的高いものの、患者が集中する大学病院(27%)や国立系病院(17%)では平均的な数値に止まっていた。本調査では、実際の臨床心理士の配置を明らかにすることはできないが、患者が集中する施設では更なる臨床心理士配置の充実や施設内の連携システムの効率的な運用を検討する必要があるものと推察された。

また、産後精神科医師に紹介したと

する施設が 20%程度に止まっていることも、今後の課題である。この紹介率は施設機能に依存し、都道府県立病院や総合周産期母子医療センターなど高次施設で高い。高次施設には精神科が併設されている施設も多く、院内紹介を含め紹介率が高くなるものと推察される。一方で、産科診療所では紹介率が低く、精神科施設との連携に問題がある可能性が示唆される。実際、妊産婦のメンタルヘルスを専門に扱う精神科医師や臨床心理士の所在や数は明確にされておらず、産科診療所から精神科へ、いかに速やかに連携するかは、重要な課題と考えられた。

以上の成績は、メンタルヘルスに問題のある妊産婦の全てが、十分な支援を受け出産を終え退院しているわけではないことを示唆している。早急な改善には、妊産婦のメンタルヘルスを専門とする精神科医師の確保や地域ネットワークシステムの機能的な運用が求められる。また同時に、多くの現場で実際に対応している産婦人科医師や助産師などへの教育も重要である。産婦人科医師や助産師などを対象とした教育プログラムを作成し、メンタルヘルスに問題のある妊産婦のスクリーニング法や保健指導法を確立し、全国展開して行くことは、より即効的な対応策になるものと推察された。

本研究では、これまでに推奨されている管理指針を検証した。その結果、スクリーニング検査(NICEの質問票、EPDS)は、全ての妊産婦を対象に、

妊娠初診時、妊娠中から産褥期に行うことが望まれた。しかし、スクリーニング検査が全例に行われるようになれば、その診断と重症度に応じた治療を検討しなければならない妊産婦が増加することは明らかである。したがって、これらに対応する専門職の確保と、効率的な管理システムの構築が急務になる。

図9のフローチャートは、これまで、産科医療機関が中心に行われていた従来型の管理から、子育て世代包括支援センターが中心となる体制を示している。しかし、これらが実現するためには適切な臨床心理専門職の配備、保健指導の強化とより慎重な周産期管理、産科医療施設と産科医療従事者の確保など課題は多い。

稿を閉じるに臨み、本研究にご理解をいただいた日本産婦人科医会常務理事会、研究データの収集にご協力いただいた事務職員に深謝する。

E. 結論

メンタルヘルスに問題があり介入が必要な妊産婦の頻度は 4.0%で、全国で年間約4万人と推計される。

全ての産科医療機関で全妊産婦を対象としたスクリーニング検査が導入されれば、より正確に要介入妊産婦を把握することが可能になる。しかし、2次検査を必要とする要介入妊産婦は増加し、これらに対応する専門職の確保と、効率的な管理システムの構築

が急務になる。

地域によっては産科医療施設の維持とそこで働く助産師の確保が大きな課題で、要介入妊産婦と生活機能障害による要支援妊婦への対応が不十分になるリスクがある。

各自治体の子育て世代包括支援センターで、ワンストップ機能を確立し、臨床心理技術者を配備するか、精神科への連携を強化することで、これらの問題は解決に近づくことが期待される。

F. 健康危険情報

研究内容に介入調査は含まれておらず、関係しない。

G. 研究発表

1. 論文発表

1)木下勝之. 周産期に生じる精神的な問題. 総合病院精神医学. 27: 194~197, 2015

2)木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 日本小児科医学会会報. 50: 19~23, 2015

3) 木下勝之. 乳幼児メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防
日本医師会雑誌 144: 548~553, 2015

4) 中井章人, 光田信明, 木下勝之.
メンタルヘルスに問題がある妊産婦の頻度と社会的背景に関する研究, 日本周産期・新生児医学会雑誌 53(1): 43-49 2017

2. 学会発表

1) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 日本医師会母子保健講習会. 2015年2月

2) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 島根子育て支援フォーラム. 2015年3月

3) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 長崎県産婦人科医会学術集会. 2015年4月

4) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 京都産婦人科医会学術集会. 2015年4月

5) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 青森産婦人科医会学術集会. 2015年4月

6) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 岡山医師会研修会. 2015年5月

7) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 三重県産婦人科医会学術集会. 2015年5月

8) 木下勝之. 妊産婦メンタルヘルスから始まる乳幼児虐待予防. 日本小児科医会学術集会. 2015年6月.

9) 木下勝之. 児童虐待は子どもの脳の構造を壊す. Resilience を獲得するために. 第42回日本産婦人科医会学術集会 2015年10月.

10) 木下勝之. 周産期メンタルヘルスと児童虐待の予防 第11回日本周産期メンタルヘルス研究会 2014年11月(大宮市)

11) 木下勝之. 母親の愛情深い養育が

乳幼児の脳の健全な発育に不可欠である—Resilienceを身に着ける—
第12回日本周産期メンタルヘルス学会 2015年11月（自治医大）

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

1. 特許取得：なし
2. 実用新案登録：なし
3. その他：なし

I. 問題点と利点

本調査は、妊産婦へのスクリーニング調査ではなく、実際に精神科への受診奨励を行う産科医への調査である。したがって、正確な妊婦のメンタルステータスを評価しているわけではない。しかし、今後スクリーニング検査を導入していく上で、およその対象者数を明らかにし、その課題を抽出した。

J. 今後の展開

スクリーニング検査を導入し、その効果を検証する。また、行政、自治体と連携し、メンタルヘルスに問題のある妊産婦への対応の向上を図る。

参考文献

1) 社会保障審議会児童部会児童虐待等要保護事例の検証に関する専門委員会. 子ども虐待による死亡事例等

の検証結果等について. 第10次報告. 平成26年9月.

2) Jomeen J. The importance of assessing psychological status during pregnancy, childbirth and postnatal period as a multidimensional construct: A literature review. *Clinical Effectiveness in Nursing* 8: 143-155, 2004.

3) 吉田敬子. 母子の心の健康を求めて 妊産婦のメンタルヘルスの理論と実際 ハイリスク者の早期発見と育児支援におけるチーム医療の役割. *日本医師会雑誌* 137: 78-81, 2008

4) Kitamura T, Yamashita H, Yoshida K. Seeking medical support for depression after the childbirth: A study of Japanese community mother of 3 month old babies. *The Open Women's Health Journal* 3: 1-4. 2009

5) 中板育美. 児童虐待等の子どもの被害、及び子どもの問題行動の予防・介入・ケアに関する研究. 平成18年度厚生労働省科学研究報告書.

6) 光田信明. 飛び込み出産. *母子保健情報* 67: 19-23. 2013.

7) 杉下佳文. 妊娠中からの子ども虐待予防とスクリーニング. *母子保健情報* 67: 58-62. 2013.

8) Almas AN, Degnan KA, Walker OL, Radulescu A, Nelson CA, Zeanah CH, Fox NA. Effects of early intervention and the moderating effects of brain activity on institutionalized children's social skills at age 8. *Soc Dev* 24: 225-239. 2015

9) 産婦人科診療ガイドライン産科編 2017（編集・監修日本産科婦人科

学会/日本産婦人科医会)。妊娠中の精神障害のリスク評価の方法は？。公益社団法人日本産科婦人科学会事務局。東京。2017

10) 日本産婦人科医会。妊産婦メンタルヘルスケアマニュアルー産後ケアへの切れ目ない支援に向けてー。公益社団法人日本産婦人科医会。東京。2017

11) 厚生労働省雇用均等・児童家庭局「子育て世代包括支援センター」と利用者支援事業等の関係等について。平成27年9月。

表3 自治体ごとの分娩数とメンタルヘルス介入必要妊産婦数

| | 回答率(%) | | | 分娩数 | | | 要介入数(%) | | |
|-----|--------|-------|---------|--------|-----|---------|---------|--|--|
| | 回答率(%) | 分娩数 | 要介入数(%) | 回答率(%) | 分娩数 | 要介入数(%) | | | |
| 北海道 | 33.0 | 1111 | 46 | 4.1 | | | | | |
| 青森 | 32.3 | 358 | 18 | 5.0 | | | | | |
| 岩手 | 54.3 | 541 | 21 | 3.9 | | | | | |
| 宮城 | 40.9 | 902 | 49 | 5.4 | | | | | |
| 秋田 | 42.3 | 179 | 1 | 0.6 | | | | | |
| 山形 | 32.1 | 292 | 8 | 2.7 | | | | | |
| 福島 | 31.0 | 471 | 17 | 3.6 | | | | | |
| 茨城 | 48.1 | 925 | 57 | 6.2 | | | | | |
| 栃木 | 53.7 | 754 | 22 | 2.9 | | | | | |
| 群馬 | 38.5 | 505 | 11 | 2.2 | | | | | |
| 埼玉 | 37.2 | 2084 | 154 | 7.4 | | | | | |
| 千葉 | 36.7 | 1437 | 36 | 2.5 | | | | | |
| 東京 | 41.5 | 4130 | 231 | 5.6 | | | | | |
| 神奈川 | 44.1 | 2784 | 86 | 3.1 | | | | | |
| 山梨 | 20.0 | 115 | 2 | 1.7 | | | | | |
| 長野 | 30.0 | 803 | 43 | 5.4 | | | | | |
| 静岡 | 29.5 | 774 | 16 | 2.1 | | | | | |
| 新潟 | 43.5 | 686 | 25 | 3.6 | | | | | |
| 富山 | 45.5 | 292 | 14 | 4.8 | | | | | |
| 石川 | 42.9 | 304 | 12 | 3.9 | | | | | |
| 福井 | 52.6 | 231 | 10 | 4.3 | | | | | |
| 岐阜 | 49.0 | 853 | 27 | 3.2 | | | | | |
| 愛知 | 43.0 | 2275 | 77 | 3.4 | | | | | |
| 三重 | 51.3 | 817 | 12 | 1.5 | | | | | |
| 滋賀 | 43.8 | 514 | 17 | 3.3 | | | | | |
| 京都 | 27.9 | 492 | 15 | 3.2 | | | | | |
| 大阪 | 45.9 | 2612 | 89 | 3.4 | | | | | |
| 兵庫 | 52.7 | 1553 | 35 | 2.3 | | | | | |
| 奈良 | 37.9 | 368 | 12 | 3.3 | | | | | |
| 和歌山 | 50.0 | 316 | 6 | 1.9 | | | | | |
| 鳥取 | 35.3 | 172 | 9 | 5.2 | | | | | |
| 島根 | 42.9 | 182 | 5 | 2.7 | | | | | |
| 岡山 | 50.0 | 686 | 33 | 4.8 | | | | | |
| 広島 | 51.8 | 1072 | 27 | 2.5 | | | | | |
| 山口 | 50.0 | 535 | 18 | 3.4 | | | | | |
| 徳島 | 47.1 | 192 | 4 | 2.1 | | | | | |
| 香川 | 62.5 | 366 | 8 | 2.2 | | | | | |
| 愛媛 | 52.8 | 525 | 28 | 5.3 | | | | | |
| 高知 | 43.8 | 231 | 5 | 2.2 | | | | | |
| 福岡 | 46.9 | 2041 | 51 | 2.5 | | | | | |
| 佐賀 | 15.4 | 168 | 3 | 1.8 | | | | | |
| 長崎 | 49.0 | 499 | 21 | 4.2 | | | | | |
| 熊本 | 32.0 | 589 | 49 | 8.3 | | | | | |
| 大分 | 57.1 | 555 | 18 | 2.9 | | | | | |
| 宮崎 | 45.9 | 421 | 36 | 8.6 | | | | | |
| 鹿児島 | 37.2 | 441 | 6 | 1.4 | | | | | |
| 沖縄 | 45.7 | 772 | 63 | 8.2 | | | | | |
| 全国 | 43.7 | 38895 | 1551 | 4.0 | | | | | |

表4 地域ごとの分娩数とメンタルヘルス介入必要割合

| | 分娩数 | 介入数 | 要介入の頻度 |
|--------|-------|------|--------|
| 北海道・東北 | 3854 | 160 | 4.2 |
| 関東 | 14311 | 658 | 4.6 |
| 東海・北陸 | 5458 | 177 | 3.2 |
| 近畿 | 5825 | 174 | 3.0 |
| 中国・四国 | 3961 | 137 | 3.5 |
| 九州 | 5486 | 245 | 4.5 |
| 全国 | 38895 | 1551 | 4.0 |

表1 メンタルヘルスに介入が必要と考えられた理由(n = 1551)

| | n | % |
|-------------|-----|-------|
| 精神疾患 | 459 | 29.6% |
| 服薬あり | 276 | 17.8% |
| 精神疾患の既往 | 394 | 25.4% |
| 抑うつ・精神不安の疑い | 595 | 38.4% |
| 他の身体的問題による | 251 | 16.2% |
| 重複回答あり | | |

表2 社会的背景

| | total(n = 1551) | | 精神疾患なし(n = 381) | |
|--------------|-----------------|-------|-----------------|----------|
| | n | % | n | % |
| 結婚なし | 280 | 18.1% | 74 | 19.4% |
| 貧困等生活面の問題がある | 232 | 15.0% | 65 | 17.1% |
| 母子手帳発行なし | 27 | 1.7% | 5 | 1.3% |
| 未受診 | 36 | 2.3% | 9 | 2.4% |
| 妊娠葛藤 | 107 | 6.9% | 25 | 6.6% |
| 両親離婚 | 181 | 11.7% | 42 | 11.0% |
| 実母と折り合いが悪い | 176 | 11.3% | 53 | 13.9%* |
| 夫との葛藤がある | 168 | 10.8% | 50 | 13.1% |
| 幼児期から否定的な養育 | 86 | 5.5% | 19 | 5.0% |
| 近所との付き合いがない | 146 | 9.4% | 51 | 13.4%* |
| 重複回答あり | | | | p < 0.05 |

表5 自治体ごとの対応者とその割合(1)

| | 施設数 回答施設 | 要介入者 あり施設 | 対応者(%) | | | | |
|-----|-------------|--------------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 産科医師 | 助産師 | 看護師 | 臨床心理士 | その他 |
| 北海道 | 32 | 15 | 5(33) | 15(100) | 8(53) | 3(20) | 3(20) |
| 青森 | 10 | 4 | 1(25) | 3(75) | 1(25) | 0 | 2(50) |
| 岩手 | 19 | 10 | 5(50) | 10(100) | 1(10) | 0 | 2(20) |
| 宮城 | 18 | 12 | 7(58) | 10(83) | 4(33) | 5(42) | 2(17) |
| 秋田 | 11 | 1 | 1(100) | 1(100) | 1(100) | 0 | 0 |
| 山形 | 9 | 3 | 1(33) | 3(100) | 1(33) | 1(33) | 1(33) |
| 福島 | 13 | 7 | 4(57) | 6(86) | 3(43) | 0 | 2(29) |
| 茨城 | 24 | 10 | 7(70) | 10(100) | 5(50) | 2(20) | 2(20) |
| 栃木 | 22 | 8 | 4(50) | 5(63) | 5(63) | 1(13) | 0 |
| 群馬 | 15 | 7 | 5(71) | 6(86) | 3(43) | 1(14) | 1(14) |
| 埼玉 | 35 | 21 | 10(48) | 15(71) | 11(52) | 2(10) | 3(14) |
| 千葉 | 40 | 16 | 13(81) | 14(88) | 7(44) | 3(19) | 3(19) |
| 東京 | 80 | 41 | 27(66) | 38(93) | 22(54) | 10(24) | 16(39) |
| 神奈川 | 55 | 30 | 17(57) | 24(80) | 12(40) | 6(20) | 12(40) |
| 山梨 | 3 | 1 | 1(100) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 長野 | 23 | 15 | 8(53) | 15(100) | 10(67) | 1(7) | 4(27) |
| 静岡 | 23 | 7 | 6(86) | 7(100) | 4(57) | 2(29) | 3(43) |
| 新潟 | 20 | 10 | 5(50) | 9(90) | 4(40) | 0 | 3(30) |
| 富山 | 10 | 6 | 4(67) | 6(100) | 1(17) | 1(17) | 2(33) |
| 石川 | 15 | 8 | 1(13) | 6(75) | 4(50) | 0 | 2(25) |
| 福井 | 10 | 4 | 3(75) | 2(50) | 1(25) | 1(25) | 2(50) |
| 岐阜 | 24 | 11 | 3(27) | 8(73) | 5(45) | 1(9) | 1(9) |
| 愛知 | 61 | 25 | 12(48) | 23(92) | 15(60) | 4(16) | 8(32) |
| 三重 | 20 | 6 | 2(33) | 4(67) | 2(33) | 2(33) | 2(33) |

表5 自治体ごとの対応者とその割合(2)

| | 施設数 回答施設 | 要介入者 あり施設 | 対応者(%) | | | | |
|-----|-------------|--------------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | | | 産科医師 | 助産師 | 看護師 | 臨床心理士 | その他 |
| 滋賀 | 17 | 8 | 4(50) | 8(100) | 5(63) | 0 | 1(13) |
| 京都 | 17 | 7 | 3(43) | 7(100) | 2(29) | 1(14) | 1(14) |
| 大阪 | 67 | 28 | 14(50) | 28(100) | 11(39) | 5(18) | 11(39) |
| 兵庫 | 52 | 13 | 5(38) | 10(77) | 4(31) | 0 | 2(15) |
| 奈良 | 11 | 3 | 3(100) | 3(100) | 2(67) | 0 | 1(33) |
| 和歌山 | 11 | 2 | 1(50) | 2(100) | 1(50) | 0 | 0 |
| 鳥取 | 6 | 5 | 3(60) | 5(100) | 4(80) | 1(20) | 0 |
| 島根 | 9 | 2 | 1(50) | 2(100) | 0 | 0 | 1(50) |
| 岡山 | 20 | 11 | 7(64) | 9(82) | 4(36) | 1(9) | 7(64) |
| 広島 | 29 | 12 | 8(67) | 10(83) | 5(42) | 1(8) | 4(33) |
| 山口 | 19 | 10 | 5(50) | 9(90) | 3(30) | 0 | 2(20) |
| 徳島 | 8 | 2 | 0 | 2(100) | 1(50) | 0 | 1(50) |
| 香川 | 15 | 5 | 3(60) | 5(100) | 3(60) | 1(20) | 1(20) |
| 愛媛 | 19 | 11 | 5(45) | 9(82) | 4(36) | 2(18) | 6(55) |
| 高知 | 7 | 4 | 2(50) | 2(50) | 3(75) | 0 | 1(25) |
| 福岡 | 60 | 19 | 11(58) | 19(100) | 11(58) | 2(11) | 7(37) |
| 佐賀 | 4 | 2 | 1(50) | 1(50) | 1(50) | 1(50) | 0 |
| 長崎 | 25 | 9 | 4(44) | 7(78) | 4(44) | 0 | 3(33) |
| 熊本 | 16 | 11 | 4(36) | 9(82) | 6(55) | 1(9) | 2(18) |
| 大分 | 20 | 15 | 5(33) | 8(53) | 3(20) | 0 | 2(13) |
| 宮崎 | 17 | 6 | 2(33) | 8(133) | 3(50) | 1(17) | 2(33) |
| 鹿児島 | 16 | 6 | 4(67) | 6(100) | 4(67) | 0 | 1(17) |
| 沖縄 | 16 | 8 | 6(75) | 7(88) | 4(50) | 5(63) | 0 |
| 全国 | 1073 | 477 | 253(53) | 417(87) | 218(46) | 68(14) | 132(28) |

表6 精神科へ紹介した施設とその割合

| 施設数 | % | 施設数 | % |
|-----|----|-----|----|
| 北海道 | 0 | 0 | 0 |
| 青森 | 1 | 25 | 13 |
| 岩手 | 0 | 0 | 14 |
| 宮城 | 3 | 25 | 3 |
| 秋田 | 1 | 100 | 11 |
| 山形 | 0 | 0 | 2 |
| 福島 | 1 | 14 | 15 |
| 茨城 | 3 | 30 | 0 |
| 栃木 | 1 | 13 | 50 |
| 群馬 | 0 | 0 | 1 |
| 埼玉 | 5 | 24 | 20 |
| 千葉 | 3 | 19 | 50 |
| 東京 | 19 | 46 | 1 |
| 神奈川 | 11 | 37 | 20 |
| 山梨 | 1 | 100 | 18 |
| 長野 | 5 | 33 | 2 |
| 静岡 | 2 | 29 | 50 |
| 新潟 | 2 | 20 | 3 |
| 富山 | 1 | 17 | 16 |
| 石川 | 0 | 0 | 0 |
| 福井 | 2 | 50 | 0 |
| 岐阜 | 2 | 18 | 22 |
| 愛知 | 6 | 24 | 2 |
| 三重 | 0 | 0 | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |
| | | | 25 |
| | | | 22 |
| | | | 9 |
| | | | 20 |
| | | | 33 |
| | | | 17 |

初診時(妊娠初期)問診票(モデル案)

あなたの妊娠・出産・子育てを妊娠中から応援します。秘密は厳守しますので、以下についてもご記入をお願いします。
医療施設・市町村・保健所等が連携して支援させていただきます。

記入日 平成 年 月 日 カルテ№ 妊婦健診補助券番号

| | | | | | |
|---|--------------|--|--------|---------|---------|
| 1 | フリガナ 妊婦氏名 | 生年月日 | 年齢 | 職業 | |
| 2 | 健康保険の種類 | ①国民(妊婦・産婦) ②国民健康保険 ③任意加入者(あり/なし) | | | |
| 3 | 住居のある住所 | この住所に何年お住まいですか ()年 | | | |
| 4 | 連絡先 | 自宅電話番号 | 携帯電話番号 | メールアドレス | |
| 5 | 緊急連絡先 | 連絡先氏名 | 電話番号 | 携帯電話番号 | メールアドレス |
| 6 | 家族構成 | 本人を含めた家族数()人 (妊婦さんからみた続柄で同居者にごをつけてください) 夫(パートナー)と子ども()人、父親・母親・祖父・祖母・夫(パートナー)の父、夫の母・夫の祖父・夫の祖母・その他() | | | |
| 7 | 障害者 | ①妊婦さんの方 ②夫(パートナー)の方 ③障害者なし | | | |
| 8 | 今頃の妊娠について | 現在の妊娠週数のことなど 分娩予定日 平成 年 月 日 今頃の妊娠は不妊治療ですか はい いいえ 妊婦 今頃初めて()回目 産前(なし/)回目、中絶(なし/)回目、産後(なし/)回目、流産(なし/)回目 分娩 今頃初めて()回目 経産です(はい/ いいえ)(理由:) 妊婦健診の医療機関名 未定 分娩予定の医療機関名 未定 | | | |
| 9 | 10 | 11 | | | |

図4. 初診時(妊娠初期)問診票(モデル案)
(文献10より引用)

アセスメントシート③支援を要する妊婦のスクリーニング(大阪府様式)

このシートは、妊婦さんから産後の育児について育児負担がかなり重く、より支援が必要であることを判断するための指標です。

妊婦氏名 () 記入日 ()

＊各項目について、「妊婦」(パートナー)のそれぞれ該当する欄に○を付してください。

| 部 | 項目 | 妊婦 | | パートナー | |
|----|--|----|----|-------|----|
| | | あり | 不明 | あり | 不明 |
| 妊婦 | ①保護者自身に産後負担がある | | | | |
| 妊婦 | ②保護者自身に①(1)～(3) (1)産後・産前・産中・産後(2)産前・産中・産後(3)産前・産中・産後 | | | | |
| 妊婦 | ③産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ④産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑤産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑥産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑦産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑧産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑨産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑩産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑪産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑫産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑬産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑭産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑮産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑯産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑰産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑱産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑲産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ⑳産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉑産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉒産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉓産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉔産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉕産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉖産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉗産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉘産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉙産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉚産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉛産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉜産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉝産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉞産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㉟産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊱産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊲産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊳産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊴産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊵産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊶産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊷産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊸産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊹産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊺産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊻産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊼産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊽産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊾産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |
| 妊婦 | ㊿産後(産前・産中・産後)の負担が大きい | | | | |

支援者等の状況

支援者(夫・パートナー)の状況

支援者(親・祖父母)の状況

支援者(兄弟姉妹)の状況

支援者(友人・知人)の状況

支援者(地域・支援機関)の状況

支援者(その他)の状況

図5. 初診時(妊娠初期)(大阪府様式)アセスメントシート

育児支援チェックリスト

母氏名 実施日 年 月 日(産後 日目)

あなたへ適切な援助を行うために、あなたのお気持ちや育児の状況について以下の質問にお答え下さい。
あなたにあてはまるお答えのほうに、○をつけて下さい。

- 今回の妊娠中、おなかの中の赤ちゃんやあなたの体について、またはお産の時に医師から何か問題があると言われていますか?
はい いいえ
- これまでに流産や死産、出産後1年間に
お子さんを亡くされたことがありますか?
はい いいえ
- 今までに心理的な、あるいは精神的な問題で、
カウンセラーや精神科医師、または心療内科医師
などに相談したことがありますか?
はい いいえ
- 困ったときに相談する人についてお尋ねします。
①夫には何でも打ち明けることができますか?
はい 夫がいない
②お母さんには何でも打ち明けることができますか?
はい いいえ 実母がいない
③夫やお母さんの他にも相談できる人がいますか?
はい いいえ
- 生活が苦しかったり、経済的な不安がありますか?
はい いいえ
- 子育てをしてくれて、今の住まいや環境に満足していますか?
はい いいえ
- 今回の妊娠中、実家や親しい方が亡くなった、または家族や
親しい方が重い病気になったり、事故にあったことがありますか?
はい いいえ
- 赤ちゃんが、なぜむずかかったり、泣いたり
しているのかわからないことがありますか?
はい いいえ
- 赤ちゃんを叩きたくなることがありますか?
はい いいえ

(九州大学病院児童精神医学教室—福岡市保健所使用版)

図6. 育児支援チェックリスト(文献10より引用)

赤ちゃんへの気持ち質問票

母氏名 実施日 年 月 日(産後 日目)

あなたの赤ちゃんについてどのように感じていますか?
下にあげているそれぞれについて、いまのあなたの気持ちにいちばん近いと感じられる表現に○をつけて下さい。

| 項目 | ほとんどいつも 喜ぶ/嬉しく思う | たまに喜ぶ/ 嬉しく思う | たまに少し 嬉しく思う | 喜ぶ/ 嬉しく思う |
|---|---------------------|-----------------|----------------|--------------|
| 1) 赤ちゃんをいとおしく感じる。 | () | () | () | () |
| 2) 赤ちゃんのためにしないといけないことがあるのに、おろおろしてしまっている感じがする。 | () | () | () | () |
| 3) 赤ちゃんのことが腹立たしくいやになる。 | () | () | () | () |
| 4) 赤ちゃんに対して何も特別な気持ちがない。 | () | () | () | () |
| 5) 赤ちゃんに対して怒りがこみあげる。 | () | () | () | () |
| 6) 赤ちゃんの世話を楽しみながらしている。 | () | () | () | () |
| 7) こんな子でなかったらなあと思う。 | () | () | () | () |
| 8) 赤ちゃんを守ってあげたいと感じる。 | () | () | () | () |
| 9) この子がいいなかつたらなあと思う。 | () | () | () | () |
| 10) 赤ちゃんをとち身近に感じる。 | () | () | () | () |

(西田ら(2003)による日本版訳)

図7. 赤ちゃんへの気持ち質問票(文献10より引用)

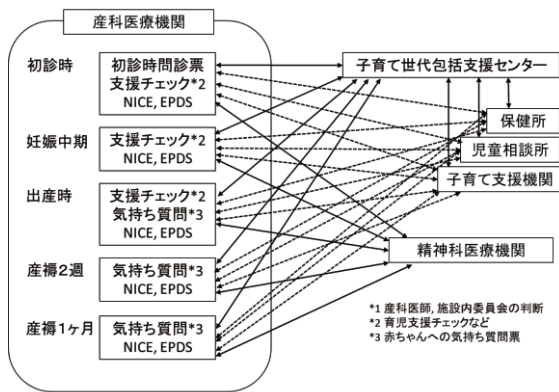


図8. 従来型の管理のフローチャート

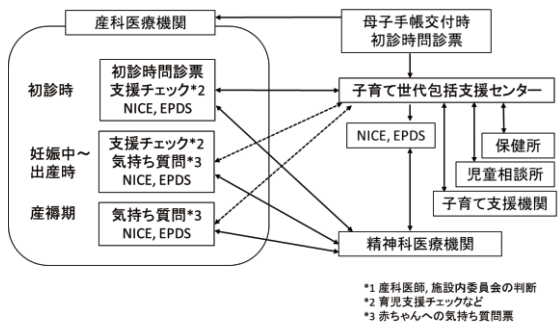


図9. 子育て世代包括支援センターワンストップのフローチャート

表1 メンタルヘルスに介入が必要と考えられた理由 (n = 1551)

| | n | % |
|-------------|-----|-------|
| 精神疾患 | 459 | 29.6% |
| 服薬あり | 276 | 17.8% |
| 精神疾患の既往 | 394 | 25.4% |
| 抑うつ・精神不安の疑い | 595 | 38.4% |
| 他の身体的問題による | 251 | 16.2% |
| 重複回答あり | | |

表2 社会的背景

| | total (n = 1551) | | 精神疾患なし (n = 381) | |
|--------------|------------------|-------|------------------|----------|
| | n | % | n | % |
| 結婚なし | 280 | 18.1% | 74 | 19.4% |
| 貧困等生活面の問題がある | 232 | 15.0% | 65 | 17.1% |
| 母子手帳発行なし | 27 | 1.7% | 5 | 1.3% |
| 未受診 | 36 | 2.3% | 9 | 2.4% |
| 妊娠葛藤 | 107 | 6.9% | 25 | 6.6% |
| 両親離婚 | 181 | 11.7% | 42 | 11.0% |
| 実母と折り合いが悪い | 176 | 11.3% | 53 | 13.9%* |
| 夫との葛藤がある | 168 | 10.8% | 50 | 13.1% |
| 幼児期から否定的な養育 | 86 | 5.5% | 19 | 5.0% |
| 近所との付き合いがない | 146 | 9.4% | 51 | 13.4%* |
| 重複回答あり | | | | p < 0.05 |

表3 自治体ごとの分娩数とメンタルヘルス介入必要妊産婦数

| 自治体 | 回答率 (%) | 分娩数 | 要介入数 | (%) | 自治体 | 回答率 (%) | 分娩数 | 要介入数 | (%) |
|-----|---------|------|------|-----|-----|---------|-------|------|-----|
| 北海道 | 33.0 | 1111 | 46 | 4.1 | 滋賀 | 43.6 | 514 | 17 | 3.3 |
| 青森 | 32.3 | 358 | 18 | 5.0 | 京都 | 27.9 | 462 | 15 | 3.2 |
| 岩手 | 54.3 | 541 | 21 | 3.9 | 大阪 | 45.9 | 2612 | 89 | 3.4 |
| 宮城 | 40.9 | 902 | 49 | 5.4 | 兵庫 | 52.7 | 1553 | 35 | 2.3 |
| 秋田 | 42.3 | 179 | 1 | 0.6 | 奈良 | 37.9 | 368 | 12 | 3.3 |
| 山形 | 32.1 | 292 | 8 | 2.7 | 和歌山 | 50.0 | 316 | 6 | 1.9 |
| 福島 | 31.0 | 471 | 17 | 3.6 | 鳥取 | 35.3 | 172 | 9 | 5.2 |
| 茨城 | 48.1 | 925 | 57 | 6.2 | 島根 | 42.9 | 182 | 5 | 2.7 |
| 栃木 | 53.7 | 754 | 22 | 2.9 | 岡山 | 50.0 | 686 | 33 | 4.8 |
| 群馬 | 38.5 | 505 | 11 | 2.2 | 広島 | 51.8 | 1072 | 27 | 2.5 |
| 埼玉 | 37.2 | 2084 | 154 | 7.4 | 山口 | 50.0 | 535 | 18 | 3.4 |
| 千葉 | 36.7 | 1437 | 36 | 2.5 | 徳島 | 47.1 | 192 | 4 | 2.1 |
| 東京 | 41.5 | 4130 | 231 | 5.6 | 香川 | 62.5 | 366 | 8 | 2.2 |
| 神奈川 | 44.1 | 2784 | 86 | 3.1 | 愛媛 | 52.8 | 525 | 28 | 5.3 |
| 山梨 | 20.0 | 115 | 2 | 1.7 | 高知 | 43.8 | 231 | 5 | 2.2 |
| 長野 | 50.0 | 803 | 43 | 5.4 | 福岡 | 46.9 | 2041 | 51 | 2.5 |
| 静岡 | 29.5 | 774 | 16 | 2.1 | 佐賀 | 15.4 | 168 | 3 | 1.8 |
| 新潟 | 43.5 | 686 | 25 | 3.6 | 長崎 | 49.0 | 499 | 21 | 4.2 |
| 富山 | 45.5 | 292 | 14 | 4.8 | 熊本 | 32.0 | 589 | 49 | 8.3 |
| 石川 | 42.9 | 304 | 12 | 3.9 | 大分 | 57.1 | 555 | 16 | 2.9 |
| 福井 | 52.6 | 231 | 10 | 4.3 | 宮崎 | 45.9 | 421 | 36 | 8.6 |
| 岐阜 | 49.0 | 853 | 27 | 3.2 | 鹿児島 | 37.2 | 441 | 6 | 1.4 |
| 愛知 | 43.0 | 2275 | 77 | 3.4 | 沖縄 | 45.7 | 772 | 63 | 8.2 |
| 三重 | 51.3 | 817 | 12 | 1.5 | 全国 | 43.7 | 38895 | 1551 | 4.0 |

表4 地域ごとの分娩数とメンタルヘルス介入必要割合

| 地域 | 分娩数 | 介入数 | 要介入の頻度 |
|--------|-------|------|--------|
| 北海道・東北 | 3854 | 160 | 4.2 |
| 関東 | 14311 | 658 | 4.6 |
| 東海・北陸 | 5458 | 177 | 3.2 |
| 近畿 | 5825 | 174 | 3.0 |
| 中国・四国 | 3961 | 137 | 3.5 |
| 九州 | 5486 | 245 | 4.5 |
| 全国 | 38895 | 1551 | 4.0 |

表5 自治体ごとの対応者とその割合(1)

| 自治体 | 施設数 | | 対応者 (%) | | | | |
|-----|------|----------|---------|---------|--------|--------|--------|
| | 回答施設 | 要介入者あり施設 | 産科医師 | 助産師 | 看護師 | 臨床心理士 | その他 |
| 北海道 | 32 | 15 | 5(33) | 15(100) | 8(53) | 3(20) | 3(20) |
| 青森 | 10 | 4 | 1(25) | 3(75) | 1(25) | 0 | 2(50) |
| 岩手 | 19 | 10 | 5(50) | 10(100) | 1(10) | 0 | 2(20) |
| 宮城 | 18 | 12 | 7(58) | 10(83) | 4(33) | 5(42) | 2(17) |
| 秋田 | 11 | 1 | 1(100) | 1(100) | 1(100) | 0 | 0 |
| 山形 | 9 | 3 | 1(33) | 3(100) | 1(33) | 1(33) | 1(33) |
| 福島 | 13 | 7 | 4(57) | 6(86) | 3(43) | 0 | 2(28) |
| 茨城 | 24 | 10 | 7(70) | 10(100) | 5(50) | 2(20) | 2(20) |
| 栃木 | 22 | 8 | 4(50) | 5(63) | 5(63) | 1(13) | 0 |
| 群馬 | 15 | 7 | 5(71) | 6(86) | 3(43) | 1(14) | 1(14) |
| 埼玉 | 35 | 21 | 10(48) | 15(71) | 11(52) | 2(10) | 3(14) |
| 千葉 | 40 | 16 | 13(81) | 14(88) | 7(44) | 3(19) | 3(19) |
| 東京 | 80 | 41 | 27(66) | 38(93) | 22(54) | 10(24) | 16(39) |
| 神奈川 | 55 | 30 | 17(57) | 24(80) | 12(40) | 6(20) | 12(40) |
| 山梨 | 3 | 1 | 1(100) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 長野 | 23 | 15 | 8(53) | 15(100) | 10(67) | 1(7) | 4(27) |
| 静岡 | 23 | 7 | 6(86) | 7(100) | 4(57) | 2(29) | 3(43) |
| 新潟 | 20 | 10 | 5(50) | 9(90) | 4(40) | 0 | 3(30) |
| 富山 | 10 | 6 | 4(67) | 6(100) | 1(17) | 1(17) | 2(33) |
| 石川 | 15 | 8 | 1(13) | 6(75) | 4(50) | 0 | 2(25) |
| 福井 | 10 | 4 | 3(75) | 2(50) | 1(25) | 2(50) | 0 |
| 岐阜 | 24 | 11 | 3(27) | 8(73) | 5(45) | 1(9) | 1(9) |
| 愛知 | 61 | 25 | 12(48) | 23(92) | 15(60) | 4(16) | 8(32) |
| 三重 | 20 | 6 | 2(33) | 4(67) | 2(33) | 2(33) | 2(33) |

表5 自治体ごとの対応者とその割合(2)

| 自治体 | 施設数 | | 対応者 (%) | | | | |
|-----|------|----------|---------|---------|---------|--------|---------|
| | 回答施設 | 要介入者あり施設 | 産科医師 | 助産師 | 看護師 | 臨床心理士 | その他 |
| 滋賀 | 17 | 8 | 4(50) | 8(100) | 5(63) | 0 | 1(13) |
| 京都 | 17 | 7 | 3(43) | 7(100) | 2(29) | 1(14) | 1(14) |
| 大阪 | 67 | 28 | 14(50) | 28(100) | 11(39) | 5(18) | 11(39) |
| 兵庫 | 52 | 13 | 5(38) | 10(77) | 4(31) | 0 | 2(15) |
| 奈良 | 11 | 3 | 3(100) | 3(100) | 2(67) | 0 | 1(33) |
| 和歌山 | 11 | 2 | 1(50) | 2(100) | 1(50) | 0 | 0 |
| 鳥取 | 6 | 5 | 3(60) | 5(100) | 4(80) | 1(20) | 0 |
| 島根 | 9 | 2 | 1(50) | 2(100) | 0 | 0 | 1(50) |
| 岡山 | 20 | 11 | 7(64) | 9(82) | 4(36) | 1(9) | 7(64) |
| 広島 | 29 | 12 | 8(67) | 10(83) | 5(42) | 1(8) | 4(33) |
| 山口 | 19 | 10 | 5(50) | 9(90) | 3(30) | 0 | 2(20) |
| 徳島 | 8 | 2 | 0.0 | 2(100) | 1(50) | 0 | 1(50) |
| 香川 | 15 | 5 | 3(60) | 5(100) | 3(60) | 1(20) | 1(20) |
| 愛媛 | 19 | 11 | 5(45) | 9(82) | 4(36) | 2(18) | 6(55) |
| 高知 | 7 | 4 | 2(50) | 2(50) | 3(75) | 0 | 1(25) |
| 福岡 | 60 | 19 | 11(58) | 19(100) | 11(58) | 2(11) | 7(37) |
| 佐賀 | 4 | 2 | 1(50) | 1(50) | 1(50) | 1(50) | 0 |
| 長崎 | 25 | 9 | 4(44) | 7(78) | 4(44) | 0 | 3(33) |
| 熊本 | 16 | 11 | 4(36) | 9(82) | 6(55) | 1(9) | 2(18) |
| 大分 | 20 | 15 | 5(33) | 8(53) | 3(20) | 0 | 2(13) |
| 宮崎 | 17 | 6 | 2(33) | 6(100) | 3(50) | 1(17) | 2(33) |
| 鹿児島 | 16 | 6 | 4(67) | 6(100) | 4(67) | 0 | 1(17) |
| 沖縄 | 16 | 8 | 6(75) | 7(88) | 4(50) | 5(63) | 0 |
| 全国 | 1073 | 477 | 253(53) | 417(87) | 218(46) | 68(14) | 132(28) |

表6 精神科へ紹介した施設とその割合

| 施設数 | % | 施設数 | % |
|-----|----|-----|-----|
| 北海道 | 0 | 0 | 13 |
| 青森 | 1 | 25 | 14 |
| 岩手 | 0 | 0 | 11 |
| 宮城 | 3 | 25 | 15 |
| 秋田 | 1 | 100 | 0 |
| 山形 | 0 | 0 | 50 |
| 福島 | 1 | 14 | 20 |
| 茨城 | 3 | 30 | 50 |
| 栃木 | 1 | 13 | 36 |
| 群馬 | 0 | 0 | 25 |
| 埼玉 | 5 | 24 | 10 |
| 千葉 | 3 | 19 | 0 |
| 東京 | 19 | 46 | 20 |
| 神奈川 | 11 | 37 | 18 |
| 山梨 | 1 | 100 | 50 |
| 長野 | 5 | 33 | 16 |
| 静岡 | 2 | 29 | 0 |
| 新潟 | 2 | 20 | 22 |
| 富山 | 1 | 17 | 9 |
| 石川 | 0 | 0 | 20 |
| 福井 | 2 | 50 | 33 |
| 岐阜 | 2 | 18 | 17 |
| 愛知 | 6 | 24 | 25 |
| 三重 | 0 | 0 | 22 |
| | | 滋賀 | 1 |
| | | 京都 | 1 |
| | | 大阪 | 3 |
| | | 兵庫 | 2 |
| | | 奈良 | 0 |
| | | 和歌山 | 1 |
| | | 鳥取 | 1 |
| | | 島根 | 1 |
| | | 岡山 | 4 |
| | | 広島 | 3 |
| | | 山口 | 1 |
| | | 徳島 | 0 |
| | | 香川 | 1 |
| | | 愛媛 | 2 |
| | | 高知 | 2 |
| | | 福岡 | 3 |
| | | 佐賀 | 0 |
| | | 長崎 | 2 |
| | | 熊本 | 1 |
| | | 大分 | 3 |
| | | 宮崎 | 2 |
| | | 鹿児島 | 1 |
| | | 沖縄 | 2 |
| | | 全国 | 106 |

表7 施設ごとの分娩数とメンタルヘルス介入必要割合

| | 回答施設数 | 回答率 | 分娩数 | 要介入数 | 頻度(%) |
|-----|-------|------|-------|------|-------|
| 病院 | 338 | 43.5 | 20385 | 1108 | 5.4 |
| 診療所 | 735 | 43.8 | 18510 | 443 | 2.4 |
| 合計 | 1073 | 43.7 | 38895 | 1551 | 4.0 |

表8 病院における分娩数とメンタルヘルス介入必要割合

| | 回答数 | 回答率 | 分娩数 | 要介入数 | 頻度(%) |
|-----------|-----|------|-------|------|-------|
| 運営母体による分類 | | | | | |
| 大学病院 | 38 | 46.5 | 2395 | 244 | 10.2 |
| 国立系 | 16 | 49.0 | 1080 | 82 | 7.6 |
| 都道府県立 | 24 | 46.2 | 1318 | 69 | 5.2 |
| 市町村立 | 66 | 44.4 | 3048 | 156 | 5.1 |
| 厚生連 | 15 | 38.7 | 629 | 18 | 2.9 |
| 済生会 | 12 | 50.0 | 677 | 45 | 6.6 |
| 社会保険 | 2 | 18.2 | 62 | 1 | 1.6 |
| 日赤 | 19 | 43.3 | 1339 | 63 | 4.7 |
| 私立 | 84 | 40.5 | 6843 | 303 | 4.4 |
| その他 | 62 | 45.2 | 3236 | 130 | 4.0 |
| 施設機能による分類 | | | | | |
| 総合周産期 | 37 | 55.8 | 3643 | 236 | 6.5 |
| 地域周産期 | 92 | 45.0 | 5998 | 398 | 6.6 |
| 一般病院 | 209 | 41.1 | 10744 | 474 | 4.4 |

表9 施設ごとの対応者とその割合

| | 要介助者がいた施設数 | 対応者(%) | | | | |
|-----------|------------|---------|---------|---------|--------|--------|
| | | 医師 | 助産師 | 看護師 | 臨床心理士 | その他 |
| 病院 | 188 | 116(62) | 172(91) | 85(45) | 41(22) | 64(34) |
| 診療所 | 289 | 137(47) | 245(85) | 133(46) | 27(9) | 68(24) |
| 運営母体による分類 | | | | | | |
| 大学病院 | 30 | 22(73) | 29(97) | 18(60) | 8(27) | 20(67) |
| 国立系 | 12 | 8(67) | 10(83) | 7(58) | 2(17) | 5(42) |
| 都道府県立 | 14 | 10(71) | 12(86) | 4(29) | 8(57) | 3(21) |
| 市町村立 | 29 | 16(55) | 27(93) | 9(31) | 8(28) | 10(34) |
| 厚生連 | 4 | 2(50) | 4(100) | 2(50) | 1(25) | 0 |
| 済生会 | 8 | 5(63) | 8(100) | 5(63) | 1(13) | 2(25) |
| 社会保険 | 1 | 1(100) | 1(100) | 1(100) | 0 | 0 |
| 日赤 | 14 | 7(50) | 12(86) | 5(36) | 2(14) | 5(36) |
| 私立 | 45 | 19(42) | 40(89) | 24(53) | 5(11) | 8(18) |
| その他 | 34 | 26(76) | 29(85) | 10(29) | 6(18) | 11(32) |
| 施設機能による分類 | | | | | | |
| 総合周産期 | 33 | 23(70) | 28(85) | 16(48) | 14(42) | 13(39) |
| 地域周産期 | 63 | 42(67) | 56(89) | 28(44) | 17(27) | 26(41) |
| 一般 | 92 | 51(55) | 88(96) | 41(45) | 10(11) | 25(27) |

